

連載

未来への扉⑭



子ども・子育て世代向けのお薦めの本を、図書館司書が紹介します。
 問 坂井輪図書館
 (☎025-260-3242)



『てぶくろ』ウクライナ民話

絵：エウゲーニー・M・ラチョフ 訳：うちだりさこ
 出版社：福音館書店 発行年：1965年
 市内図書館所蔵数：73冊



あらすじ

雪が降りしきる森の中で、おじいさんが手袋を片方落としてしまいます。その暖かそうな手袋を最初に見つけたのは小さなネズミ。「ここで暮らすことにするわ」と言って、中に入り込みました。次にやって来たのはカエル。「わたしも入れて」とお願いし、ネズミは中に入れてあげました。その後もウサギにキツネ、そしてとうとうクマまでやって来て、手袋の中に入りたがります。
 小さな手袋はどうなってしまうのでしょうか。

おすすめポイント

子どもたちの間でもよく交わされる「入れて」「どうぞ」の繰り返しが見られる楽しい絵本です。
 現実なら、小さな手袋には到底入れない動物たちですが、この絵本の手袋には不思議と入れるような気がしてきます。自然と引き込まれる絵の力で、子どもたちはもちろん、大人も絵本の世界を堪能できます。
 動物たちの名前をリズムよく積み重ねていく文もとても面白いので、ぜひお子さんと一緒に声に出して楽しんでください。

年末大掃除のごみ出し方を再確認しよう



Point 1 特定5品目(乾電池類、蛍光灯、水銀体温計、ライター、スプレー缶類)

- 指定の日に、中身の見える透明か半透明の袋に入れて出す
- ライターとスプレー缶類は必ず使い切る。やむを得ず中身が入ったままのときは袋に「中身入り」と表示する

⚠️ 電池やバッテリーを取り外せない製品は「特定5品目」へ
 電子たばこやモバイルバッテリーなど、充電式の家電製品で電池類を取り外せないときは、無理に分解せず、製品本体ごと「特定5品目」として出してください。



Point 2 粗大ごみ

- 粗大ごみ受付センターにインターネットか電話で収集を申し込む
- 収集日までに粗大ごみ処理券を購入する(市内スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ホームセンター、ドラッグストアなどの小売店や市役所、区役所、出張所で販売)
- 処理券を見えるところに貼り、収集日の8時までに指定の場所に出す

粗大ごみ受付センター

☎025-290-5353

FAX 025-290-5371 (聴覚障がい者など専用)

受付時間 9時～17時 ※日曜、祝・休日、12月29日～1月3日除く。インターネットでの申し込みは24時間受け付け。年末年始の電話受け付けは大変混みます。日にちをずらして連絡するか、インターネット受け付けを利用してください



詳しくはこちら

連載

あなたにもできる! SDGs 4

エスディージーズ



SDGs未来都市
新潟市

問 政策調整課(☎025-226-2066)



買い物は地域のお店で

年末年始はイベントが多く、買い物の機会が増える人も多いのではないのでしょうか。今はインターネットで手軽に何でも買うことができますが、ぜひ地域のお店でも買い物をしましょう。地域で買い物をすることは、そのお店だけでなく地域全体に良い効果をもたらします。



あなたの買い物で地域が元気に



地域のお店を利用して支払ったお金は、お店で働く従業員の給料になり、その人たちの消費を通じてまた別のお店へと巡っていきます。

このようなサイクルを「地域内経済循環」と言います。地域のお店で地域のものを買ったりサービスを受けたりして、できるだけ地域内で消費をすることは、巡り巡って市民の所得向上につながります。

また、商圏人口の減少はお店の経営に大きな影響をもたらしますが、地域のお店を利用することは、人口減少が進む中でも、その地域にお店を残し、地域のにぎわいや利便性を保つことにもつながります。

子ども世代や孫世代が不便なく買い物ができ、暮らしやすい新潟にするためにも、地域のお店で買い物をしませんか。

年末の大掃除などで家庭から出たごみは、資源とごみに正しく分別して処分しましょう。

ごみの収集日は住んでいる地域で異なります。詳しくは「家庭ごみ収集カレンダー」=右=を確認してください。

問 廃棄物対策課(☎025-226-1407)



家庭ごみ収集カレンダー

Point 3 プラマーク容器包装

- 指定の日に、中身の見える透明か半透明の袋に入れて出す
 - 中身を使い切り、汚れを取り除いてから捨てる
 - 汚れが取れない場合は「燃やすごみ」へ出す
- ※プラマーク=右=の付いていないもの、プラスチック製品そのものは「プラマーク容器包装」に出せません。「燃やすごみ」へ出す



▲プラマーク

Point 4 古紙類

- 品目ごと(新聞、雑誌・雑がみ、段ボール、紙パック)に分けて出す

新聞：四つ折りにし、まとめてひもで十文字にしる
 ※折り込みチラシも可
 雑誌・雑がみ：まとめてひもで十文字にしる、または、中身の見える透明・半透明の袋に入れて出す
 段ボール：折り畳み、まとめてひもで十文字にしる
 紙パック：水洗いして切り開き、乾燥させる
 大きさをそろえて、ひもで十文字にしる

- 汚れた紙、防水などの加工された紙、臭いのついた紙は「燃やすごみ」へ出す

「ごみ関連チャットボット」を活用しよう

ごみの分別方法や収集日、粗大ごみの処理手数料などの問い合わせにAI(人工知能)が自動で回答します。



LINE版

WEB版

